

## 獣医師通信

季節の変わり目は人間と同じように、ワンちゃんやネコちゃんも体調を崩しがちです。吐き気や下痢は病気の重要な兆候なので、体調管理には気をつけて下さい。

## 看護師通信

行楽シーズンですね！外はまだまだ暑いので、熱中症に気をつけてください。

お出かけする際は予防をしっかりと行ってからにしましょう。

## トリマー通信

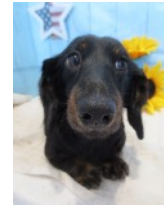
9月の特典は！

- ・泥シャンプー&泥トリートメント
- ・ハミガキ・リンパマッサージ

この3セットが¥1900→¥1200でお試し頂けます！泥シャンプーは毛穴に詰まった老廃物や汚れもしっかり落とし、さらにシャンプーの香りの持続や被毛の潤いを保ちます。是非お試しください！



尾崎ムギちゃん



内田ももちゃん

## 獣医師コラム

### カプノサイトファーガ・カニモルサス感染症

9月に入っても残暑が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回のコラムでは、今ネットやメディアで話題となっているカプノサイトファーガ・カニモルサス感染症についてお話しさせていただきます。

この病気はカプノサイトファーガ・カニモルサスという細菌を原因として引き起こされる感染症のことです。この菌は動物（イヌやネコなど）の口腔内に常在しており、イヌやネコに咬まれたり、引っ掻かれたりすることで感染・発症します。また、ヒトからヒトへの感染は今のところ報告されていません。

ヒトがこの菌に感染した場合、主な症状は吐き気・頭痛などと言われていますが、重症例では敗血症・髄膜炎を起こし、播種性血管内凝固症候群（DIC）や敗血性ショック、多臓器不全に進行して死に至ることがありますので注意が必要です。

小さいお子さんやご高齢の方、脾臓摘出者、糖尿病などの慢性疾患、悪性腫瘍にかかっている方などの免疫機能の低下した方において特に重症化する傾向がある感染症です。しかし、動物による咬傷事故等の発生数に対し、報告されている患者数は非常に少ないことから、本病は極めて稀にしか発症しないとも考えられています。

免疫機能が低下していなくとも、咬み傷や引っ掻き傷から感染し、発症する事例もある為、予防対策としては、過度のふれあいは避け、動物を触った後は手洗い・うがいを確実に実行するようにしましょう。

また、動物に咬まれたり引っ掻かれたりした際には軽度であっても病院に行き適切な処置を受けるように心掛けましょう。

動物を飼われる方は適切な知識を持ち、対処をすることで動物との楽しい生活を送りましょう！

参考文献:厚生労働省HPより

獣医師 小坂由紀